

# 和歌山縣報

第四十一號

大正元年十二月二十四日

○縣令

○和歌山縣令第十六號

明治三十三年<sup>七</sup>縣令第五十五號牛乳營業取締規則施行細則中左ノ通改正ス

大正元年十二月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

## 牛乳營業取締規則施行細則

第四條ノ二 產業組合法ニ依リ組織シタル組合ハ左ノ制限ニ從ヒ組合員ノ飼牛ヨリ搾取シタル牛

乳ヲ販賣スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ代表者ヲ以テ牛乳營業者ト見做ス

一 第三條ノ規程ニ抵觸セサル場所ニ一定ノ共同搾乳所、牛乳取扱所、飼牛繁置所(飼牛十頭以下ナル場合ハ設置セザルモ)ヲ設置シ其ノ場所ニ於テ搾乳取扱ヲ爲シ且可成牛乳消毒所ヲ設ケ適當ナル消毒器ヲ備

ヘ牛乳ノ消毒ヲ行フコト

二 共同搾乳所ハ少クとも二坪以上ノ面積ヲ有シ地盤、尿樋、受尿器ハ第四條第七號、第八號、第

九號ニ準シテ築造シ内部ハ高サ四尺以上ノ金屬板、セメント塗又ハ板張ト爲シ天井ヲ張り且

適宜ノ窓ヲ設ケ採光、換氣ニ適當ナル構造ト爲スコト

三 牛乳取扱所ハ少クとも二坪以上ノ面積ヲ有シ其ノ構造ハ前號ニ準シテ設備スルノ外適當ノ

器具洗場ヲ附設シ且可成塵埃、蚊蠅等ヲ防クノ装置ヲ爲スコト

四 繋留所ハ其構造牛一頭ニ對シ幅三尺五寸以上奥行八尺以上トシ前方ヲ開放シ後方ハ板張ト爲シ地盤、尿樋、受尿器ハ第四條第七號、第八號、第九號ニ準シ築造スルコト

五 組合員各自ノ牛舎ハ牛一頭ニ對シ約三坪以上トシ適當ナル採光換氣窓ヲ設ケ天井並腰板ヲ張リ地盤、尿樋、受尿器不潔物溜ハ第四條第七號、第八號、第九號、第十號ニ準シ築造スルコト但シ三頭以上ノ乳牛ヲ飼養スル牛舎ノ位置構造設備ハ第三條第四條ヲ適用ス

六 販賣區域ヲ一定スルコト但牛乳搾取販賣者又ハ乳製品製造業者へ販賣スルモノハ此ノ限ニ在ラス

七 牛乳取扱者ヲ一定スルコト

八 乳牛ノ健康診斷ヲ爲スヘキ獸醫ヲ定メ置クコト

第四條ノ三 前條ニ依リ牛乳販賣ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具スヘシ

一 一定款寫並業務擔當者ノ住所氏名、生年月日

二 組合員ノ住所氏名、生年月日、其ノ飼牛ノ種類、頭數、牛舎ノ位置構造

三 共同搾乳所、牛乳取扱所、牛乳消毒所、飼牛繋留所ノ設備ニ關シテハ第一條第一號、第二號、

第三號、第四號並第六號ノ事項

四 牛乳取扱者ニ關シテハ第一條第七號ノ事項

五 販賣區域

六 獸醫ノ住所氏名

本條第三號ノ増築、移轉、又ハ變更若ハ第五號ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ手續ニ依リ知

事ノ認可ヲ受ケ其ノ他ノ異動ハ五日以内ニ知事ニ届出ヘシ

第八條 第一條、第四條ノ三、第三號並第五條ノ工事竣成シタルトキハ知事ニ第四條ノ三、第二號ノ工事竣成シタルトキハ所轄警察官署ニ届出検査ヲ受クルニ非キレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十三條 牛乳搾取所、乳製品製造所並牛體ハ常ニ掃除ヲ爲シテ清潔ヲ保持シ牛舎内ノ褥藁ハ時々之ヲ取換ヘ不潔物溜及受尿器ノ汚物ハ停滯セサル様搬出スヘシ

牛乳搾取所及乳製品製造所ハ一ヶ月一回大掃除ヲ爲スヘシ但シ其ノ日時ハ豫メ所轄警察官署ニ届出ヘシ

第二十條ノ二 牛乳營業者ハ規則第十二條ニ依ル疾病ノ外「トラホーム」花柳病及傳染性皮膚疾患ニ罹レル者ヲシテ牛乳、乳製品及其ノ容器、量器等ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得ス牛乳營業者ニシテ其ノ疾病ニ罹レルトキ亦同シ

第二十條ノ三 所轄警察官署ハ牛乳營業者又ハ牛乳、乳製品取扱者ニシテ結核、癩病、花柳病「トラホーム」及傳染性皮膚疾患ニ罹レル疑アリト認ムルトキハ期限及醫師ヲ指定シテ診斷書ノ提出ヲ命シ又ハ警察醫ヲシテ之ガ診斷ヲナサシムルコトアルヘシ

第二十條ノ四 警察官吏及衛生技術員ハ隨時牛乳搾取所、乳製品製造所及第四條ノ三第二號ノ牛舎ニ臨檢視察スルコトアルヘシ

第二十條ノ五 牛乳營業者ニシテ規則第十五條ニ依ルノ外左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ認可ヲ取消シ又ハ修繕、改築、移轉若ハ適當ナル設備ヲ命シ又ハ營業ヲ停止シ若ハ第四條ノ二ノ販賣組「合員全部若ハ一部ノ牛乳搾取販賣ヲ停止スルコトアルヘシ

一 認可ヲ受ケタル後三ヶ月以内ニ工事ニ着手セサルトキ

二 正當ノ理由ナクシテ竣成期日ヲ經過シ尙竣成セサルトキ  
三 休業三ヶ月以上ニ及ヒタルトキ

四 本則ニ違反シ又ハ本則ニ基ク處分ニ従ハサルトキ

五 其他公衆衛生ニ障害アリト認メタルトキ

第二十三條 第二條第四條ノ三第二項、第六條第八條乃至第十條及第十三條乃至第二十條ノ二ニ

違反シタル者又ハ第二十條ノ三ノ診斷書提出ノ命ニ従ハス若ハ警察醫ノ診斷ヲ拒ミタル者第二

十條ノ五ノ修繕、改築、移轉若ハ適當ナル設備ノ命ニ従ハサル者又ハ營業ノ停止中營業ヲ爲シ若

ハ搾乳停止中搾乳販賣ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第二十三條ノ二 牛乳營業者カ未成年者若ハ禁治產者ナルトキハ第二十三條ノ罰則ハ之ヲ其ノ法

定代理人ニ科ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ任リテハ此ノ限ニ

在ラス  
牛乳營業者其ノ代理人戸主、家族、同居者、雇人又ハ組合員其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關

シ本則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違反シタル場合ニ於テハ第

二十三條ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

法人ニ適用スヘキ處罰ハ之ヲ法定代表者ニ科ス

附 則

本則ハ大正二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○訓令

○和歌山縣訓令第十四號

郡市町村ハ左記様式ニ依ル保安林臺帳ヲ備ヘ之ヲ保存整理スヘシ  
大正元年十二月二十四日

和歌山縣知事

郡役所  
市役所  
町村役場  
川村竹治

編入年月日		編入面積	全面積		申請者	所有者	所在地
號			實測又ハ見込	臺帳			
保安林種類							紀伊國 郡 村大字 字 番 池目
編入區域							

使用收益ノ制限  
若ハ禁止又ハ施  
業及保護ノ方法  
ニ關スル指定事  
項

備  
考

○告示

○和歌山縣告示第百八十八號

東牟婁郡大島村大字大島字北地地先海面埋立地九百七坪五合壹勺ハ所屬未定地ニ付町村制第三條

ニ依リ東牟婁郡大島村ノ區域ニ編入シ大正二年一月一日ヨリ施行ス

大正元年十二月二十四日

和歌山縣知事 川村 竹治

○和歌山縣告示第百八十九號

明治三十九年四月勅令第九十六號ニ依リ左記神社ヲ神饌幣帛料供進神社ト指定ス

大正元年十二月二十四日

和歌山縣知事 川村 竹治

村社 名草神社 海草郡安原村大字冬野

○和歌山縣告示第百九十號

左記狩獵免狀ハ本年十二月十一日西牟婁郡大都河村大字防巳字シヤクレ谷ニ於テ遺失ノ旨届出タ

大正元年十二月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

周第一二號 乙種三等狩獵免狀

大正元年十月十四日下付

西牟婁郡大都河村大字防巳二百四十二番地

平民 岡 豐次郎

○辭令

○大正元年十一月二十二日

和歌山縣雇ヲ命ス

月俸拾五圓ヲ給ス

御用濟ニ付解雇

○大正元年十二月十九日

警察部保安課勤務ヲ命ス

和歌山警察署勤務ヲ命ス

○大正元年十二月二十日

願ニ依リ職務ヲ免ス

神前 數一

雇 神前 數一

警部 三宅清次郎

警部 早川勝藏

休職土木技手 坂本角太郎

○大正元年十二月二十一日

(各通)

給月俸貳拾四圓

(各通)

給九級俸

給十級俸

給四級俸

給月俸拾九圓

給月俸拾八圓

給月俸拾六圓

給十級俸

那賀郡書記 早苗 恂次  
那賀郡書記 田村 作五郎

那賀郡書記 山田 靜馬  
那賀郡書記 清原 清

那賀郡書記 右藤 源次郎  
伊都郡書記 奥谷 幾之助

伊都郡書記 北川 圭三  
伊都郡書記 木村 彌三郎

伊都郡書記 森川 勝三郎  
伊都郡書記 寺本 福一郎

○ 彙 報

○ 行 政

○ 郡會 東牟婁郡ニ於テハ大正二年一月十日通常郡會ヲ招集ス

○ 産 業



○補助金交付 有田郡農會ニ對シ園藝試驗場施設費補助トシテ金壹百圓ヲ交付スル旨本月十八日指  
令セリ

○衛生

○虎列拉患者 本月<sup>乃十五日</sup>至十七日三日間ニ於ケル新患者數左ノ如シ

静岡縣四名 岩手縣一名 東京府六名 千葉縣一名 神奈川縣一名 計十三名

○慈惠救濟

○恩賜濟生會 和歌山市内救療狀況

○第六十五回

救療月日及場所 本年十二月十五日道場町海善寺

救療當務者 醫師三木徳三郎藥劑師岩橋利三郎看護婦田伏せい

患者數 舊患者<sup>男六名</sup>新患者<sup>ナシ</sup>計<sup>男六名</sup>  
<sup>女十二名</sup>

○第六十六回

救療月日及場所 本年十二月十七日道場町海善寺

救療當務者 醫師滋野左右吉藥劑師脇本竹治郎看護婦山崎梅の

患者數 舊患者<sup>男八名</sup>新患者<sup>男一名</sup>計<sup>男九名</sup>  
<sup>女十三名</sup>

新患者病名別 結膜炎女一名喉頭加答兒女一名急性腸加答兒女一名

○觀象

大正元年自十二月十九日至十二月廿一日氣象 (和歌山地方測候所觀測)

種日	十二月十九日		十二月二十日		十二月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五九耗五	七六二耗九	七六三耗一	七六四耗五	七七〇耗二	七六〇耗七
平均氣溫	一四度一	一二度七	一〇度〇	八度六	四度九	七度二
最高氣溫	二〇度八	一八度六	一五度五	一二度一	七度二	七度九
最低氣溫	六度二	七度五	三度八	四度九	二度九	六度六
最多風向	南	北	西北四	北東	西北四	北々東
平均風力	七米四	五米五	六米六	二米七	五米三	二米六
天氣	曇小雨	午晴	晴	半晴	曇	雨
降水量	〇耗八	一二耗四	〇耗〇			一三耗一
記事雜象	終日時々細雨シ午 前十時ヨリ夕刻迄 南寄ノ暴風吹ク風 雨強カシ午前十 十一時懸下全霽ヲ 警戒ス	曉間降雨午前十一 時午懸下全部ノ霽 ヲ解ク	早曉細雨午前十一 時懸下全部ノ霽戒 ヲ解ク	夜間月環ヲ映ス		終日降雨風雨強カ シ可シ午前十時 四十分懸下南部東 部ヲ警戒ス

大正元年十二月二十三日印刷  
大正元年十二月二十四日發行  
每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

和歌山地方測候所  
和歌山市北條町六番地  
印刷所 宗七